

# 中央 年収6百万円めざす 松本副委員長が決意表明

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」。5月1日、代々木公園で第89回中央メーデーが同実行委員会主催で開催されました。参加者は2万8000人（東京土建1819人）でした。式典の主催者挨拶に立った小田川義和国民春闘共闘委員会代表幹事は「国政を私物化

## 「働かせ方」改革No.1 第89回 メーデー



2万8千人が代々木公園に集まった中央メーデーの式典

る、産業界を配置させるなどの改善を勝ち取った経験を報告するとともに、年収600万円の賃金を求めて、元請や国・東京都へ要請していくと決意を語りました。式典終了後、東京土建の都内21支部は、それぞれ要求を表現したデモ行進を先頭にデモ行進をしました。

### 多摩 要求高く掲げて 三多摩 土建バンドも歌を披露

5月1日に第89回三多摩メーデーが、昨年の多摩川緑地公園から井の頭公園西園競技場へ会場を戻して、2500人（東京土建1061人）の参加で開催されました。



「俺たちの軽トラック」を歌う土建バンドの皆さん

え、日本を動かしていく原動力になるはず。要求のないところに運動は生まれません。勇気を出して一歩を踏み出しましょう」とあいさつ。

5月6日、夢の島公園内にある第五福竜丸展示館前で2018年平和行進出発式が行なわれました。今年も、平和行進の創始者と言われる西本敦さんが1958年の第4回原水禁大会前に、広島から東京へ行進してからちょうど60年目にあたる年で、抜けるような青空のもと8000人が参加。この日本を踏み出さなければ



行進先頭の参加者

### 核兵器なくそう 60周年に8000人で行進

集会終了後、参加者は「核兵器をなくそう」などと書かれたプラカードでアピールし、公園を練り返し、東陽公園に向けてパレードしました。

集会終了後、参加者は「核兵器をなくそう」などと書かれたプラカードでアピールし、公園を練り返し、東陽公園に向けてパレードしました。

課題別アピールでは、渡辺副委員長から建設労働者の賃金や労働条件改善に向け闘う決意、アスベスト被害者を救済する基金制度の創設、平和で安心して働ける社会の実現の訴えとともに、「土建バンド」を作った元書記局の溜口さんと一緒に「俺たちの軽トラック」を歌い、参加者の注目を集めました。式典終了後は、パフォーマンスしながら、吉祥寺通りをデモ行進しました。



東京地裁前集会でコールする原告と支援者

### 東京原告が証言 賛同署名3人ふえる アスベスト

4月27日、首都圏建設アスベスト訴訟2陣第22回開日東京地裁103号法廷で開かれ、地裁前で3000人（東京土建は89人）の原告と統一本部に結集する仲間が支援集会を開きました。この日の法廷では、東京土建の遠藤好一さん（大工・狛江）、坂田武和さん（タイル・足立）、仲村通夫さん（内装・豊島）がそれぞれの職種に関する現場での曝露の実態を証言しました。



阿部さん（左）を訪問した西東京・第6分会の山村分会長

### 西東京 豊かな制度伝える 講習、新入学祝金で対話

【西東京 書記・渡辺裕介記】西東京支部では支部目標71人に対し、半数を超える36人の成果で後半戦スタート。第4次行動では支部で開催する「丸のこ熱中症講習」「集団健康診断」の案内、また「新入学祝金対象名簿」を活用し、組合員訪問を行いました。目標達成まであと1人の第6分会では、5月に転入してきた若手の組合員を役員、書記で訪問。群会議の詳細を伝えるとともに、組合加入のきっかけなど、本人と対話。その中から、組合で利用できる業務の説明など、いろいろな話をするのができ、「困ったことがあればすぐに組合へ」と伝えることができました。

### 荒川 事業所を重点的に 新体制の荒川分会奮闘

【荒川・書記・船橋賢一記】荒川支部は春の拡大を「若手後継者世代・事業所とのつながりを強化する」1年間と位置づけて、支部目標81人を掲げ

て取り組んでいます。また、新委員長と副委員長

も常任執行委員が未選出の分会に積極的にオルグに入ることを確認しました。連休明けの5月から第3次行動に突入しましたが、第4次節目の52人に接近する51人に到達しています。今年から分会長が代わり、副分会長が40歳代に交代した荒川分会では、「拡大ニューズ」や組合員訪問袋を持って、組合内事業所や資本従事者を

重点的に訪問しています。また、仲間とつながるアンケートは群会議や労災の年度更新で活用し、まちの救助隊やPALの会への入会を呼びかけています。分会目標は11人、現段階ですでに6人加入しています。「必ず達成して、6月の打上式は、新しい仲間と一緒に参加します」と分会役員は張り切っています。

### 目標達成し新加入者と一緒に打上げへ

石井苗子参議院議員から賛同署名が届き、合計375人の議員の方々の賛同を得ることができました。